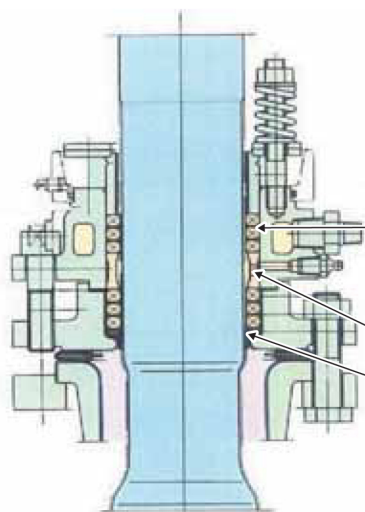


軸封装置、伝動装置の整備

反応機の心臓部です。定期整備でトラブル防止！

【グランドシールの整備】



定期的に消耗部品を交換してください。
初回は3ヶ月後に交換し、摺動面の劣化状況を観察し、以降の交換時期を決定ください。

グランドパッキンは、用途により種類が異なりますので、用途に合ったグランドパッキンを選定しご提供いたします。
また、グランドパッキンの中に入っているシーラーは気密性アップのために入っています。同時に交換してください。

ランタンリング と
底リングは毎回交換する必要はありませんが、変形が見られた場合は交換してください。

プロの手による交換作業をいたします。

【イージーメンテナンス グランドシールへの改造】

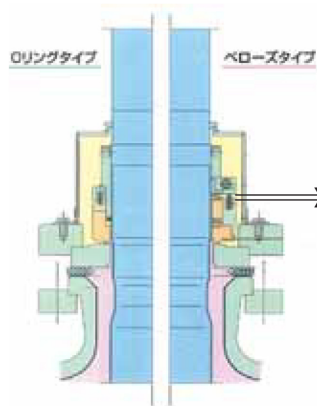


上部本体を縦方向に2つ割りにしたグランドシールに改造することもできます。

グランドパッキン、ランタンリング等の部品の交換が容易にでき、作業時間の短縮が図れます。また、中が見えるのでグランドパッキン等が確実に装着できます。

標準的な交換消耗部品は在庫しています。機器の製作番号とともにご用命ください。

【ドライシールの交換と整備】



ドライシールは運転により回転環の摺動部が磨耗し、擦り減ってきます。
隙間の観察により交換時期を決定ください。

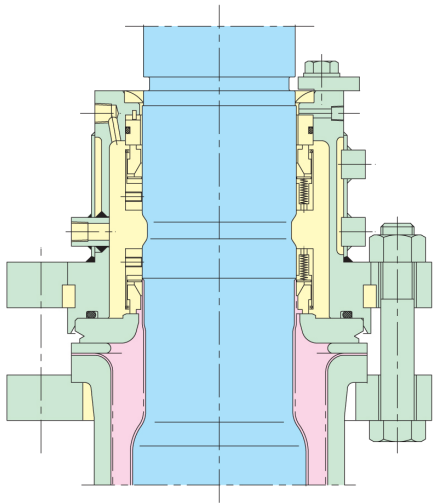
新品時の隙間 (X) を測定し記録してください。
回転環の磨耗により、この隙間が X 寸法 + 1.5 mm 以上になれば、交換してください。

ラッピング整備（摺動部再研磨）

なんらかの原因で漏れたもの、また、一旦取り外したドライシールは、そのままでは再使用はできません。
弊社にて摺動面のラッピング整備を承っております。シール性能がよみがえります。

ドライシールの交換作業は熟練した技術が必要です。弊社では交換工事も承っております。

【ダブルメカニカルシールの交換と整備】



ダブルメカニカルシールは運転時間 **8,000 時間** を目安に定期的に交換してください。

交換に際してはメカニカルシールユニットの他
オイルシール
Oリング
ガスケット
が必要です。予備品として、お持ちください。

整備品を再び予備品に!

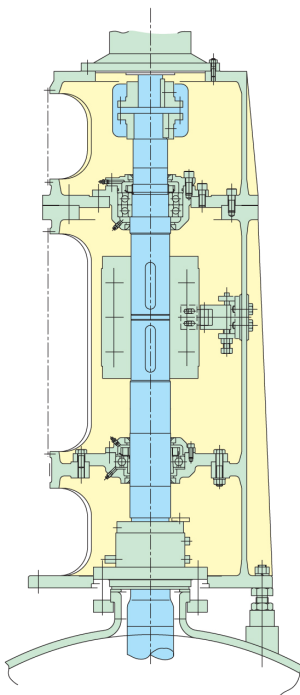
取り替えたダブルメカニカルシールユニットは整備することにより、再使用できます。ラッピング整備可能なものはラッピングし、できないものは交換となります。整備したものは予備品として保管してください。

メカニカルシールの交換作業は熟練した技術が必要です。弊社では交換工事も承っております。

メカニカルシールの保管に関してのご注意

メカニカルシールは高精度に仕上げられた製品につき、取り扱いに際しご注意ください。	
保管場所の環境	年間を通じて温度変化の少ない、直射日光の当たらない場所とし、高温、多湿、風雨のかかる場所や粉塵の多い場所は避けてください。
保管方法	梱包箱は天地正しく置き、床に直置きしないでください。 また、梱包箱の上に重量物は載せないでください。 開梱、組み立ての際、摺動部は直接、手で触れないでください。
摺動部の経年変化	摺動部は経年変化します。保管期間が2年以上経過したものはご使用前に平坦度検査を実施ください。(弊社で承っております)

【伝動装置の整備】



伝動装置のベアリングは運転時間 **40,000 時間** を目安に交換してください。

軸振れが大きくなってくると軸封装置の漏れの原因にもなります。

軸封部整備の際、同時にベアリング、オイルシール等の交換をお勧めいたします。

伝動装置の整備工事についても弊社にて承っております。
指導員の派遣も対応いたします。